

中国四国 J クレジット制度オンライン勉強会

農業者が粃殻から創る 高機能バイオ炭の展開

株式会社KCL
有限会社國定農産

代表取締役
取締役会長

國定 豪



自己紹介



國定 豪（くにさだ たけし）

有限会社國定農産 取締役会長
株式会社KCL 代表取締役

岡山大学農学部卒業後、若干23歳で有限会社
國定農産の代表取締役として就任。

以下43年間代表取締役として当初10haであ
った所有農地を180haまで規模拡大
するなど地域をけん引するメガファームに育
て上げた。

児島湾土地改良区 元理事
公益法人日本農業法人協会 岡山県会長



農業法人40年の経営経験

■作付け品目



米
(酒米)



麦
(二条大麦・六条大麦)



麦
(ハトムギ)



大豆
(丹波篠山種)

KCLについて 商品及びサービスの概要



製造



従来：地域の廃棄物



袋詰め販売



野焼き

作業不足、経費が出ない、環境問題

地域の資源として有効活用



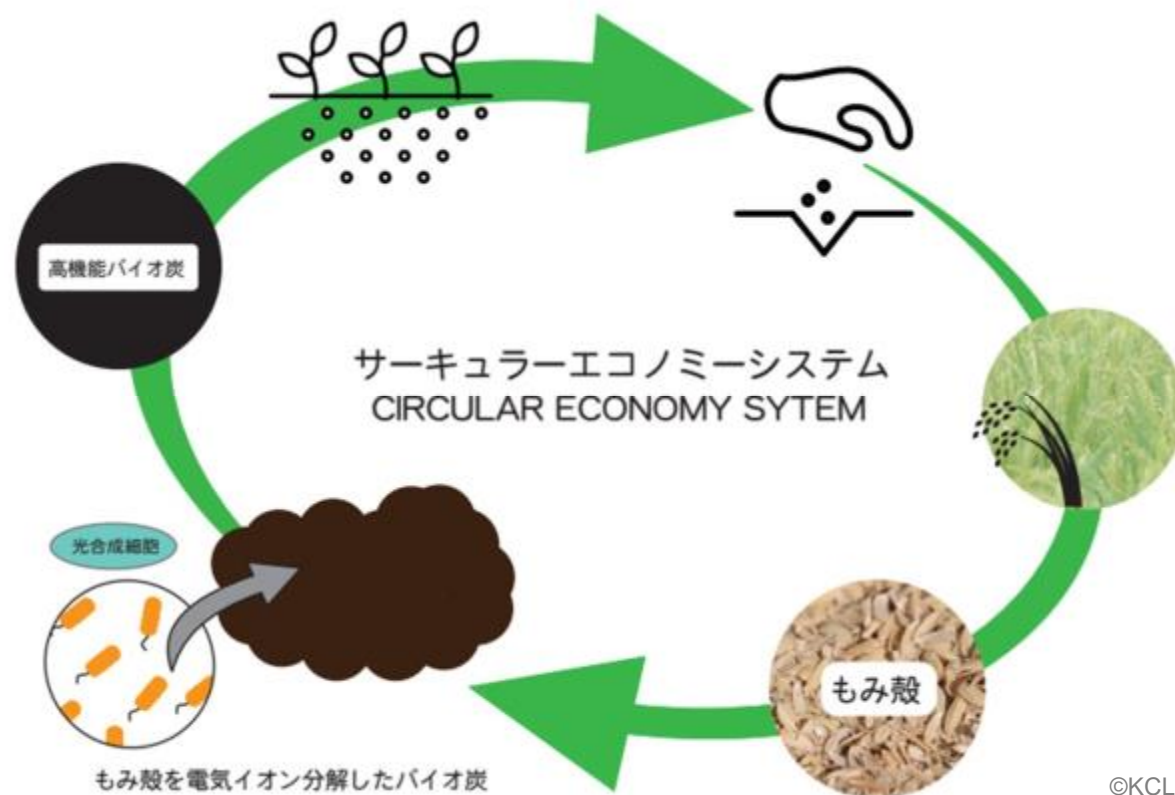
高機能バイオ炭



非結晶性シリカ

廃棄物を出さず資源を循環させるシステム

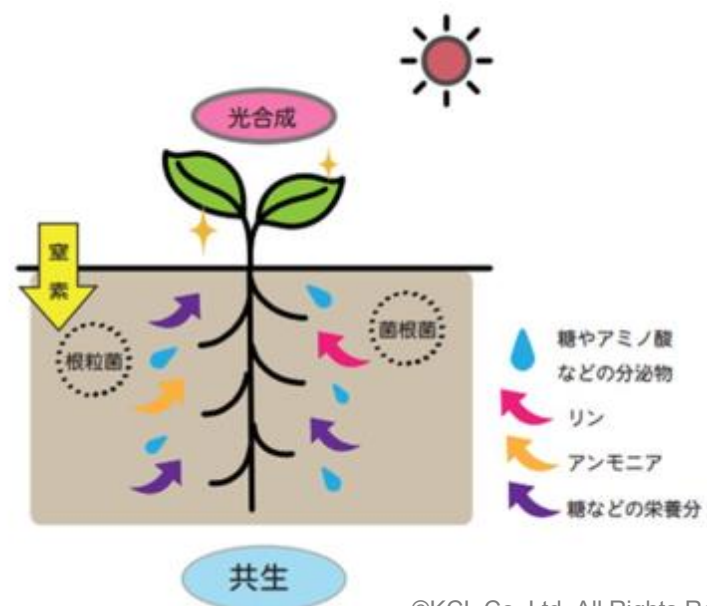
➡ 自然への負荷を少なくして環境問題の深刻化を低減、資源不足問題の解消を図る



有用微生物とは



もみ殻を電気イオン分解したバイオ炭



目指す農業の姿（Jクレジット）

バイオ炭を土中に施用した農業者を取りまとめて、Jクレジット化し販売、利益を農家還元することによる**農業者の利益確保**を目指します。

Jクレジット方法論（環境省）



農業

方法論NO.	方法論
AG-001	牛・豚・ブロイラーへのアミノ酸バランス改善飼料の給餌
AG-002	家畜排せつ物管理方法の変更
AG-003	茶園土壌への硝化抑制剤入り化学肥料又は石灰窒素を含む複合肥料の施肥
AG-004	バイオ炭の農地施用
AG-005	水稲栽培における中干し期間の延長
AG-006	肉用牛へのバイパスアミノ酸の給餌

バイオ炭
農地施用

農家



収益還元

企業



クレジット化して
販売

グループ認証



クニタンクラブ

Jークレジット制度
J-CREDIT SCHEME
プロジェクト登録証

プロジェクト番号: **JCS-PJP00345**

プロジェクトの名称

バイオ炭の農地施用によるCO2削減プロジェクト

プロジェクト実施者名

株式会社KCL

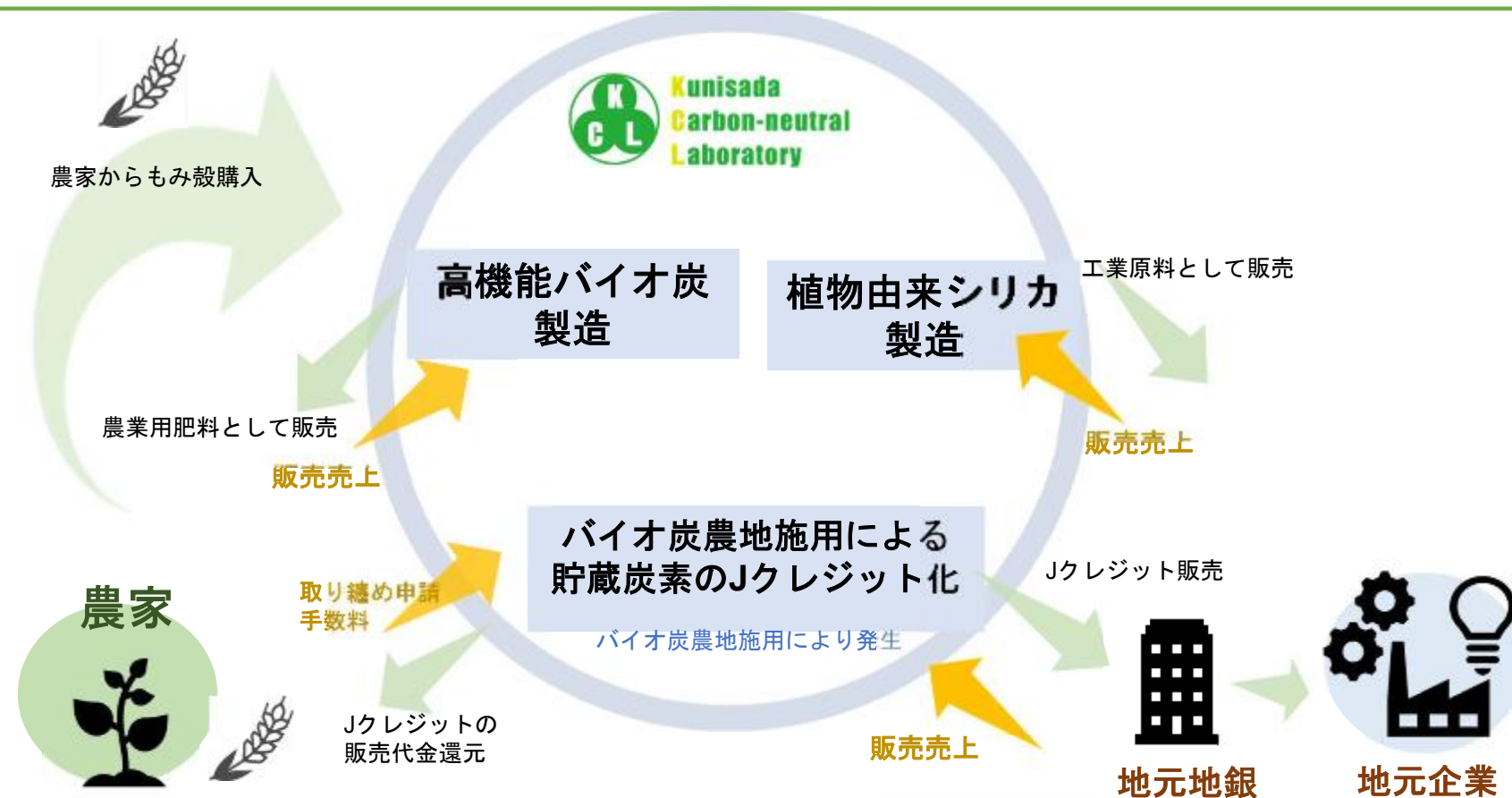
代表者氏名

国定 豪 様

上記プロジェクトについて申請内容を審議した結果、プロジェクト登録要件に適合すると認められるため、Jークレジット制度実施要綱に基づき、Jークレジット制度に登録いたします。

登録申請日: 2024年11月29日
Jークレジット制度 制度管理者
経済産業省・環境省・農林水産省

KCLについて ビジネスモデル



資源循環型社会・脱炭素社会の実現を目指す

バイオ炭による育苗



ドローンでの
バイオ炭ペレット散布の様子



今後の実証内容



農業者からの聞き取りでは
散布をしたいけれど...

水田に散布するバイオ炭量の
・限界値 ・適量値
がわからない

導入の
ボトルネック

【実証】

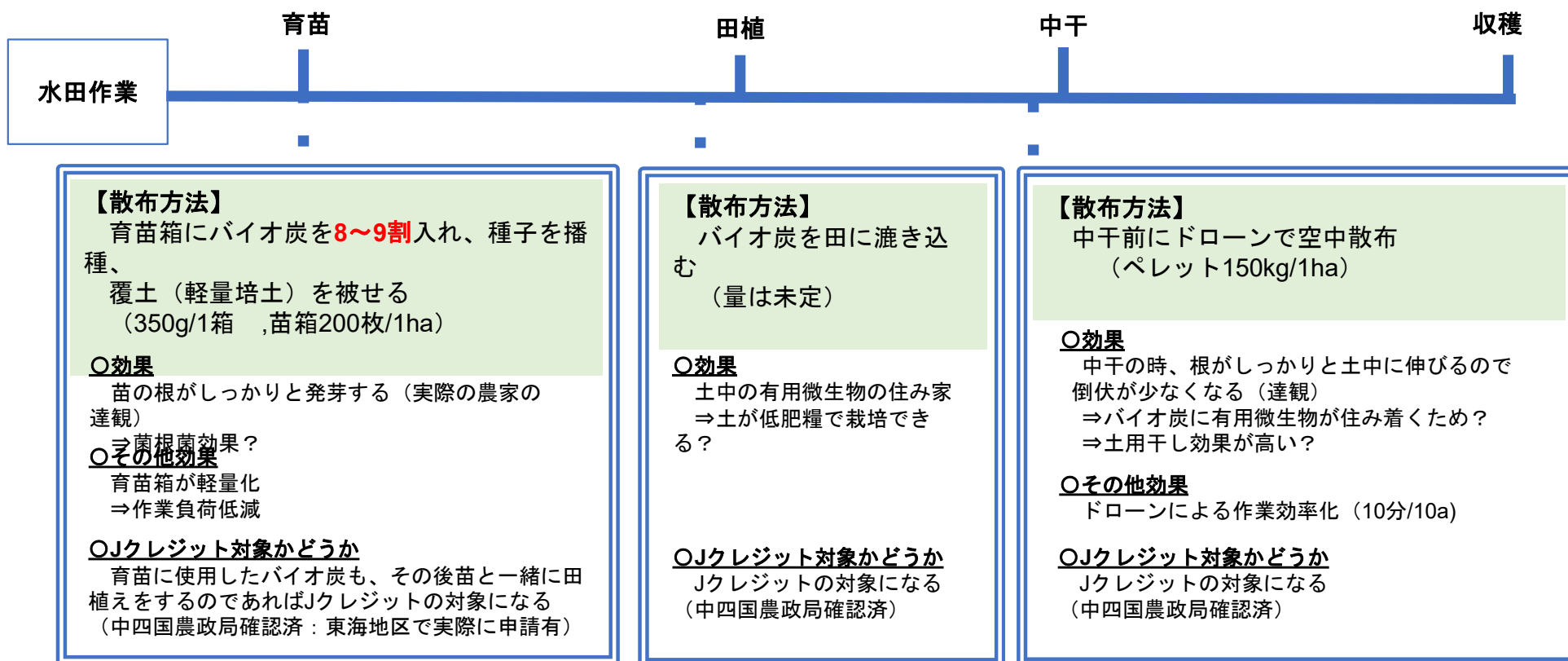
・ バイオ炭散布量の適正量・最大散布
可能量を割り出す

ボトルネック
解消

産地に適した
「環境に優しい栽培技術」
の確立

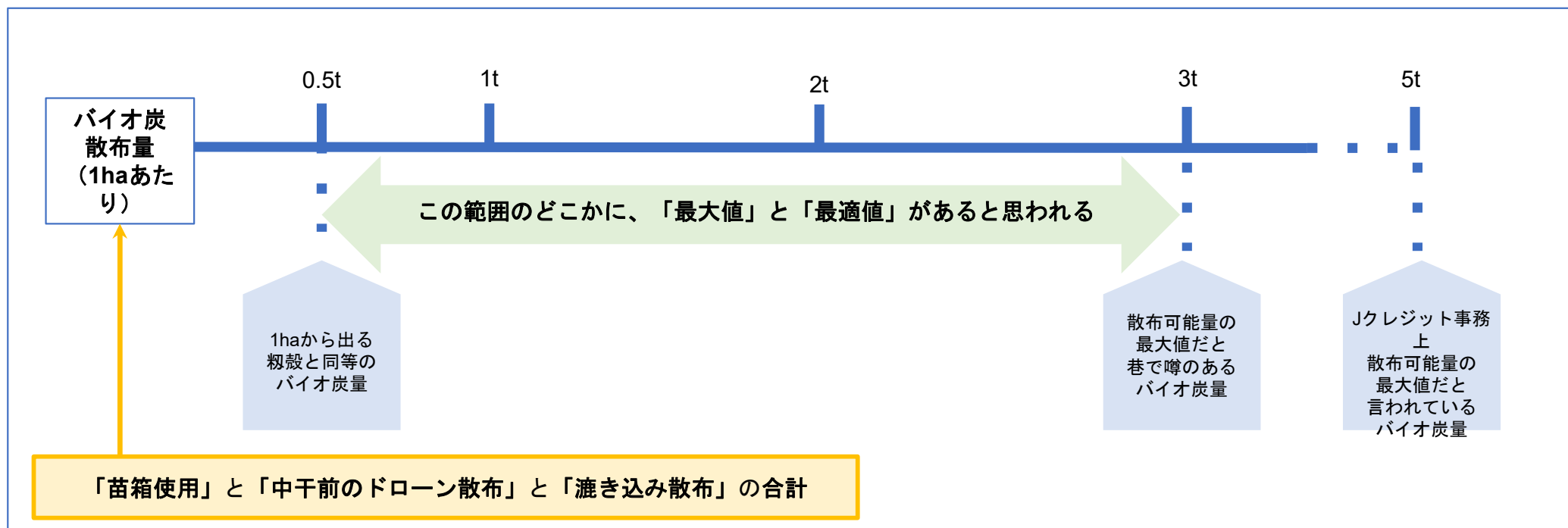
具体的（案）

■ バイオ炭の散布方法



実証検討案

■ バイオ炭の散布値の最適量の検証



- ※ 「最大値」：収量や品質が地域の平均値と同等である場合でのバイオ炭最大値
- ※ 「最適値」：収量が地域の平均より高い収量で判断？

- ※ バイオ炭の「ph」値は、実際に図ってみると「ph7」なので、育苗箱に大量に使っても問題ないし何年もそうしている（県北の農家談）
⇒関東では「ph6」の値が出るらしい。地域の粃殻によってバイオ炭のph値が違う？

「学」での農業者を育てる取組



近隣の多くの大学が「農」や「食」の学びを提供

地域の若者と共に

農業を守る若者を支援したい



「持続可能な農業とは何か」を追い求めていきたい



ご清聴 ありがとうございました
